

大塚国際美術館

第六回システィーナ歌舞伎

水口 一夫 作・演出

ゆり わか まる ゆみの いさ おし

百合若丸弓軍功

ユリシーズ

藤間 勘十郎 振付

2015年2月20日（金）～22日（日）6回公演


 企画の意図

大塚国際美術館（館長：大塚一郎、所在地：徳島県鳴門市）では、2009年よりヴァティカンのシスティーナ礼拝堂を原寸大に立体再現した「システィーナ・ホール」を会場とする新作歌舞伎を上演しています。

これまでに、『切支丹寺異聞 伽羅紗』、『スサノオ susanoo』、『GOEMON 石川五右衛門』、『主天童子 Shiro Amakusa』、『満月阿波噺 フィガロ』と、美術館の空間を最大限に生かした画期的な演目を披露、今年度は、2015年2月20日～22日にかけて6回公演いたします。

システィーナ歌舞伎は、「和と洋のコラボレーション」「新作歌舞伎」をコンセプトにしており今年で六年目を迎えます。

今般、初演される「百合若丸弓軍功 ユリシーズ」は、松竹株式会社の製作により、西洋の美を再現した「システィーナ・ホール」に合わせて、水口一夫 作・演出、藤間勘十郎 振付により創作される歌舞伎です。今回は、古来から伝わる日本の説話「百合若伝説」をモチーフにした作品となります。出演者には第三回システィーナ歌舞伎より4年連続出演となる片岡愛之助、また今回初の出演となります大和悠河を迎えます。

間口約19m×奥行約40m×高さ約15mの壮大なホールを舞台に、和の伝統文化である歌舞伎を西洋文化の壁画に囲まれた空間で演じるこの公演では、幻想的かつ魅惑的な舞台を演出します。また過去に上演された『切支丹寺異聞 伽羅紗』『GOEMON 石川五右衛門』は、他劇場でも再演され、毎年、書きおろし初演される新作歌舞伎がご覧いただける本公演は、世界でも類をみない美術館で催される歌舞伎として新たな作品を創造します。

美術鑑賞と歌舞伎観劇をともに楽しめる大塚国際美術館ならではの企画で歌舞伎ファンはもとより美術ファンにも贅沢なひとときを過ごしていただけることを期待しています。システィーナ歌舞伎は「文化立県とくしま」の更なる発展のため、徳島県・鳴門市から新しい文化の創造・発信に取り組みたいと考えています。



日時

※30分前開場

2月20日(金) 【午前の部】 11:00 【午後の部】 15:30
 2月21日(土) 【午前の部】 11:00 【午後の部】 15:30
 2月22日(日) 【午前の部】 11:00 【午後の部】 15:30



内容

【演 目】 ゆりわかまるゆみのいさおし
 百合若丸 弓軍功 ユリシーズ

【出 演 者】 片岡愛之助
 大和悠河

【作・演出】 水口 一夫

【振 付】 藤間 勘十郎



入場料 (美術館入館料・観劇料込)

1公演 468席

【S席】 12,000円 【A席】 10,000円 ※税込、全席指定

◆12月17日(水) 午前10時より販売開始



あらすじ

蒙古の来襲を撃破した百合若は、帰途、島に上陸し、勝利の美酒に酔う。百合若の家来、
くもずみ くもたる
 雲住、雲足の兄弟は、まどろむ百合若を見て、百合若を一人、絶海の孤島に取り残し、
 百合若の領土を我がものにしようと悪計を企む。
 目を覚ました百合若が見た景色は、家来のすがたも、船の影もなく、ただ、茫洋と広がる
 大海原であった。
 孤独、気力もなえた百合若だったが、島に住む一人の女性と恋に落ちる。国に残した許嫁
 立花姫によく似た女性だった。二人の間に、男の子が誕生する。
 雲住、雲足は、国を乗っ取り、権勢を極めていた。こころよく思わない、忠臣秀虎は、百
 合若のいどころを探すべく、海原に船を出す。その船の舳先に、一本の矢が突き刺さる。
 矢の方向に船を走らすと……

古来から伝わる百合若伝説は、ホメロスの『オデュセイア』と同様の壮大なロマ
 ンとスペクタクルに満ちた物語です。説教節や近松門左衛門の浄瑠璃でも取り上げ
 られています。

システィーナ・ホールで、甦る百合若伝説。和と洋のコラボレーションによ
 るシスティーナ歌舞伎の第六弾です。

◆プロフィール◆

かたおかあいのすけ

【片岡愛之助 六代目 屋号：松嶋屋】

昭和47年3月4日生まれ。

56年12月、十三代目片岡仁左衛門の部屋子となり、南座『勸進帳』の太刀持で片岡千代丸を名のり初舞台。平成4年1月、片岡秀太郎の養子となり、大阪・中座『勸進帳』の駿河次郎ほかで六代目片岡愛之助を襲名。

平成20年12月上方舞・榎茂都流の四代目家元を継承し三代目榎茂都扇性を襲名。

『女殺油地獄』の河内屋与兵衛や『廓文章』の伊左衛門など、上方歌舞伎の継承にも熱心に取り組む傍ら、永楽館歌舞伎やシスティーナ歌舞伎、最近の大阪松竹座花形歌舞伎公演ではエンタテイメント性あふれる意欲的な舞台を繰り広げた。端正な顔立ちと豊かな声で、明朗な個性の光る舞台姿に存在感が増している。

システィーナ歌舞伎には一昨年から出演、四度目の出演となる。



やまとゆうが

【大和悠河】

昭和52年8月4日生まれ。

平成7年宝塚歌劇団入団。宙組男役トップスターとして活躍し、抜群のスター性とキラキラ輝く笑顔でファンを魅了し続けた。平成21年宝塚卒業後は、『CHICAGO』『細雪』などブロードウェイミュージカルや伝統の舞台を中心に数多くの主演、ヒロインを務める。特に『戯伝写楽』『歌舞劇・綺譚桜姫』『土御門大路』『綺譚生田川』など古典芸能に深く関わる和の舞台で主演し、際立った魅力を発揮する。

一方で『セーラームーン』タキシード仮面役では、退団後初の男役を演じて大きな喝采を浴びて、その幅広く多彩な活躍が光る。また数々のテレビ出演で話題をさらうなど、映像でも注目を集めている。他、コンサートやオペラカイエの開催、本の執筆など多方面で活躍中。



◆システィーナ歌舞伎 これまでの公演◆



きりしたんでらいぶん がらしや
第一回 切支丹寺異聞 伽羅紗
2009年9月5日～6日(3回公演)



第二回 スサノオ susanoo
2010年11月13日～14日(4回公演)



第三回 GOEMON 石川五右衛門
2011年11月12日～14日(5回公演)



しゅてんどうじ
第四回 主天童子 Shiro Amakusa
2012年11月13日～15日(6回公演)



まんげつあわのよばなし
第五回 満月阿波 噺
Le Mariage de Figaro
フィガロ ～恋のアラバスク～
2014年2月14日～16日(6回公演)



◆「システィーナ礼拝堂」について◆

ミケランジェロ（1475-1564）

天井画：「天地創造」ほか

1508-12年 フレスコ／1564×670 cm

壁画：「最後の審判」

1536-41年 フレスコ／1463～1338 cm



システィーナ礼拝堂は教皇シクストゥス4世（在位1471-84）の命によって、1473年頃ヴァチカン宮殿内に建造が開始されたことからその名があります。時の教皇ユリウス2世（在位1503-13）は彫刻家として、建築家として、詩人として、さらに画家として優れた才能を発揮したミケランジェロに天井画を描くように依頼しました。

彼は、1508年からわずか4年間で、旧約聖書『創世記』に基づき、天地創造から人類の誕生、そして人類の墮落と刑罰という神と人類との物語など、約1000平方メートルの天井に300人にも及ぶ人間像を描き上げました。天井画完成からおよそ四半世紀後、ミケランジェロは再び同じ礼拝堂の正面の壁画に「最後の審判」（『新約聖書』）を描くことになります。

「最後の審判」とはキリスト教の考える世界の終末です。キリストが再び現れ、天使が死者を復活させ、人類は善人と悪人に分けられます。そして善人は天国へと救済され、悪人は地獄へ堕ちるとされています。伝統的な審判図が位階的で安定した構図をもつのに対し、ミケランジェロのそれは極めてユニークなものとなっています。ここでは、天使さえもが興奮し、驚き、動転しているのです。静かに世界の終末を迎えるのではなく、神の裁きの前で動乱し、反逆し、絶叫する人類が描かれています。

◇ 大塚国際美術館とは ◇

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界25ヶ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。約4kmに及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

◆陶板名画について◆

大塚国際美術館で展示している原寸大の陶板名画とは、大塚グループの大塚オーミ陶業株が開発した陶製の板（セラミックボード）に原画の写真を忠実に転写し、細部に至るまで幾度もレタッチを重ね、限りなくオリジナル作品に近づけることに成功した原寸大美術陶板のことです。最終仕上がりを考慮し、釉薬の決定、色分解、製版、転写などの各工程を経て、1300度の高温で焼成します。そのため、退色劣化することなく約2,000年以上にわたってそのままの色と姿で残り、美術書や教科書と違い原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができます。

大塚国際美術館

【住 所】徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【T E L】088-687-3737 【F A X】088-687-1117

【U R L】<http://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時（入館は16時まで）

【休 館 日】月曜日（祝日の場合は翌日）／8月無休

連続休館2015年1月5日～9日

2月19日～22日は歌舞伎公演のため休館

【入 館 料】小中高生 540円 / 大学生 2,160円 / 一 般 3,240円

*20名以上の団体は10%割引

【アクセス】

関東から



羽田空港～徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約30分
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から



高速バス 大阪 / 神戸など～「高速鳴門」 2時間10分 / 1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約15分
路線バス JR徳島駅より約60分、JR鳴門駅より約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
神戸淡路鳴門自動車道 鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行



環境展示：「スクロヴェーニ礼拝堂」



※作品画像は全て当館の展示作品を撮影したものです

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 広報担当 山側千紘、土橋加奈子

T E L : 088-687-3737 F A X : 088-687-1117 e-mail : info@o-museum.or.jp

山側携帯 : 080-1993-5931